金山調節池ワークショップ

金山調整池ワークショップは、ビオトープの多様な生態系を保存するため、市民と行政（東京都・清瀬市）が協働して、維持管理活動を主に、生態系の調査や観察会、地域や学校の環境学習や自然保護・啓発活動などを行っています。

■団体の概要

金山調節池は柳瀬川の洪水調整池として平成 6 年の完成後、豊富な湧水により湿地生態系が徐々に回復し、定期的な維持管理活動での保全が不可欠になったため、平成 13 年、清瀬の自然を守る会会員を主体に地域市民と行政の連携体として組織され、周辺河川域の自然保護・復元も含めた幅広い活動を、約 70 名の会員で行っています。地道な活動実績が評価され、平成 7 年に東京都知事、また平成 8 年には日本河川協会から河川ボランティア功労賞を受けました。

■維持管理活動

洪水流入、台風被災など激しく変化する水辺環境に対応して、湿地植生の除草やごみ類・流木・倒木類の処理、ヤナギの整枝と剪定を行い、また日常的に発生する外来植物・蔓植物の処理とアオミドロの除去、看板類の補修と巡視・啓発などの維持管理作業を行っています。

東京都の業者と協力し年 3 回（春・夏・秋）の大々的な定期管理作業では、セイタカアワダチソウ・オオフサモ・アメリカセンダングサ・キショウブなど侵入外来植物類の除去と、水路部の維持管理、ヤナギの倒木・枯木処理、植生管理など、常に生物の多様性向上に配慮した作業を実施しています。

金山調節池
※金山調節池パンフレットより

■生物類の観察・調査

金山調整池は豊かな湧水と変化に富んだ水環境、そして適切な維持管理に支えられ、多様な湿地性の生態系が形成され、植物・野鳥・昆虫など多くの貴重な生き物が生息しています。年間を通して植物や野鳥・昆虫などの各種自然観察会が開催され、また自然を守る会と連携し定点観測や植生調査が実施されています。特に多種の野鳥が観察できる場所として愛好者の間で広く注目されています。

帰化植物の除草
※金山調節池ワークショップ提供写真

■環境教育

市内小学校の児童に対する環境教育や、地域の児童・保護者の自然学習に、金山調整池は格好の場としてよく活用され、教育指導と普及活動も積極的に行っています。毎年 7 月の『河川愛護月間』には、ワークショップ会員と地元小学校の児童・保護者・一般市民・東京都職員などが参加して、維持管理作業を主に交流会などの行事が行われています。

探鳥会
※金山調節池パンフレットより